

千葉県がんセンター研究所研究課題評価実施要領

(目的)

第1条 この要領は、千葉県がんセンター研究所研究課題評価実施要綱第5条第2項の規定により、評価の実施に必要な事項を定める。

(評価方法)

第2条 評価は、評価調書（兼）評価票（様式1～3）により実施する。

(自己評価)

第3条 研究者は、評価調書（兼）評価票を作成することにより、自己評価を行う。

(内部評価)

第4条 内部評価を実施するため、千葉県がんセンター研究所研究課題評価検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

- 2 検討会議は、評価調書（兼）評価票に基づき内部評価を実施する。
- 3 検討会議の組織及び運営に関する事項は、別に定める。

(事務局)

第5条 内部評価の事務を円滑に進めるため、千葉県がんセンター内に事務局を設置する。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

附則 この要領は、平成25年4月1日から施行する。

研究所長名： _____

研究課題名		研究期間	平成〇〇年度～平成〇〇年度
研究の概要	(研究の背景・目的・内容について項目ごとに簡潔に記入する)		
評価項目 ＜評価視点＞	説明	所見・指摘事項	評価区分
1. 研究の必要性や重要性			5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
①研究課題の必要性 ＜評価視点＞ ・具体的にどのような問題が発生しており（発生することが見込まれ）、また、どのような県民、関係産業界のニーズがあるのか。		【所見】 【指摘事項】	
②研究課題未実施の問題性 ＜評価視点＞ ・来年度始めない（早く始めない）場合にどんな問題や結果が生じると考えられるのか。		【所見】 【指摘事項】	
③県の政策等との関連性・政策等への活用性 ＜評価視点＞ ・県の政策、施策、計画、行政ニーズ等とどのように関連し、活用していくのか。		【所見】 【指摘事項】	
④研究課題の社会的・経済的効果 ＜評価視点＞ ・研究成果が、誰にどのような利益や効果をもたらすのか（直接、間接、県民全体等）。		【所見】 【指摘事項】	

評価項目 ＜評価視点＞	説明	所見・指摘事項	評価区分
⑤県が行う必要性 ＜評価視点＞ ・なぜ県が行うのか。県以外に同様の研究を行っている機関等がある場合、なぜ本県でも行うのか。		【所見】 【指摘事項】	/
2. 研究計画の妥当性	/	/	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
①計画内容の妥当性 ＜評価視点＞ ・計画内容が研究を遂行するのに適切か。		【所見】 【指摘事項】	/
②研究資源の妥当性 ＜評価視点＞ ・研究費や人材等が研究を遂行するのに適切か。		【所見】 【指摘事項】	/
3. 研究成果の波及効果及び発展性 ＜評価視点＞ ・研究成果が他の学術・産業分野に及ぼす影響は大きいのか。また、将来の発展性はあるか。		【所見】 【指摘事項】	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
4. その他		【所見】 【指摘事項】	/
総合評価	/	【所見】 【指摘事項】	5:独創性・貢献度等が高く、是非採択した方が 良い 4:採択した方が 良い 3:部分的に検討する必要がある 2:大幅に見直し

			する必要がある 1:採択すべきで ない
--	--	--	---------------------------

研究所長名： _____

研究課題名		研究期間	平成〇〇年度～平成〇〇年度
研究の概要	(研究の背景・目的・内容について項目ごとに簡潔に記入する)		
研究の進捗状況及び今後の研究計画			
評価項目 ＜評価視点＞	説明	所見・指摘事項	評価区分
1. 研究の必要性や重要性			5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
①研究課題の必要性 ＜評価視点＞ ・具体的にどのような問題が発生しており（発生することが見込まれ）、また、どのような県民、関係産業界のニーズがあるのか。		【所見】 【指摘事項】	
②県の政策等との関連性・政策等への活用性 ＜評価視点＞ ・県の政策、施策、計画、行政ニーズ等とどのように関連し、活用していくのか。		【所見】 【指摘事項】	
③研究課題の社会的・経済的効果 ＜評価視点＞ ・研究成果が、誰にどのような利益や効果をもたらすのか（直接、間接、県民全体等）。		【所見】 【指摘事項】	
④県が行う必要性 ＜評価視点＞ ・なぜ県が行うのか。県以外に同様の研究を行っている機関等がある場合、なぜ本県でも行うのか。		【所見】 【指摘事項】	

評価項目 ＜評価視点＞	説明	所見・指摘事項	評価区分
2. 研究計画の妥当性			5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
①計画内容の妥当性 ＜評価視点＞ ・計画内容が研究を遂行するのに適切か。また、計画内容を達成することができるか。		【所見】 【指摘事項】	
②研究資源の妥当性 ＜評価視点＞ ・研究費や人材等が研究を遂行するのに適切か。		【所見】 【指摘事項】	
3. 研究成果の波及効果及び発展性 ＜評価視点＞ ・研究成果が他の学術・産業分野に及ぼす影響は大きいか。また、将来の発展性はあるか。		【所見】 【指摘事項】	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
4. その他		【所見】 【指摘事項】	
総合評価		【所見】 【指摘事項】	5: 独創性・貢献度等が高く、是非継続した方が良い 4: 継続した方が良い 3: 部分的に見直しする必要がある 2: 大幅に見直しする必要がある 1: 中止すべきである

研究所長名： _____

研究課題名		研究期間	平成〇〇年度～平成〇〇年度
研究の概要	(研究の背景・目的・内容について項目ごとに簡潔に記入する)		
研究成果			
評価項目 ＜評価視点＞	説明	所見・指摘事項	評価区分
1. 研究計画の妥当性			5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
①計画内容の妥当性 ＜評価視点＞ ・計画内容が研究を遂行するのに適切だったか。		【所見】 【指摘事項】	
②研究資源の妥当性 ＜評価視点＞ ・研究費や人材等が研究を遂行するのに適切だったか。		【所見】 【指摘事項】	
2. 研究目標の達成度、研究成果の波及効果及び発展性 ＜評価視点＞ ・研究目標がどの程度達成されたか。また、研究成果が他の学術・産業分野に及ぼす影響は大きかったか。さらに、将来の発展性はあるか。		【所見】 【指摘事項】	5:非常に高い 4:高い 3:認められる 2:やや低い 1:低い
3. その他		【所見】 【指摘事項】	
総合評価		【所見】 【指摘事項】	5:計画以上の成果が得られた 4:計画どおりの成果が得られた

			3:計画に近い成果が得られた 2:わずかな成果しか得られなかった 1:成果が得られなかった
--	--	--	---